



ふちゅうこくさいこうりゅう ふちゅう す  
府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ  
日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
たの せいかつ ねが かつどう  
楽しく生活していくことを願って、活動  
をつづ 続けています。

# くろするる〜ど

がつごう だいごう  
2020/9月号 第252号

かいほうし  
会報誌

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★



★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

## 〜サロン月間カレンダー〜9月〜

## 「日本語学習会が始まりました！」

7月1日(水)から日本語学習会を再開しましたが、引き続き9月2日から新学期の日本語学習会も以下のお通り実施いたします。すでにご案内している新型コロナウイルス感染防止の対応策に沿って、各学習会を進めていきます。詳しいことは、サロン事務局で聞いてください。

日本語学習会は、コロナウイルスの感染を防ぐため、3月から4か月間休んでいましたが、ボランティアの皆さまの協力の下に7月1日から再開することができました。学習者もボランティアも、いつもよりは参加者が少なかったものの、お互いに会えてよかった、久しぶりに日本語を学べて嬉しかったという声が聞かれました。

### ■日本語学習会

9月2日(水) 午後2時より授業を始めます

その学習会の様子を、各部長の方々に報告していただきました。

期間：9月2日(水)～12月18日(金)までの  
月(午前・午後)・水(午後)・金(午後・夜)



## 〜再会に、皆さん嬉しそうでした〜

\*学習の時間は2時間までです

げつようごぜんぶかい ひらまつ すすむ  
月曜午前部会 平松 進

(注：状況を見て、以上の日程は変更または中止の可能性がります)

7月の出席者は両日(6・13日)とも学習者が7人前後、ボランティアがその約2倍でした。9時半から準備を始めました。ボランティアの協力で、準備も学習者への対応もスムーズにできました。久しぶりの再会に、皆さん嬉しそうでした。中には、夫(大学院生)の妻子がビザの取得ができず来日できないという話も聞きました。テレビ電話を通して4歳のお父さんが、「どうしてお父さんに会えないの。ぼくを嫌いになったの?」と悲しくも心温まるお話しでした。

### ■実行委員会

9月9日(水) 午前10時～12時

場所：サロン3階 会議室

自粛中、私たちの部会では部会報担当者が「おしゃべりタイム」をメールで発信してきました。学習者のことや自粛中の生活などを自由に書いてもらい、

### ■文化交流活動その他の企画活動

しばらくの間、お休みします。尚、前期の日本語教授法研修会Ⅱの未消化の分(3回)は、10月に実施する予定です。



マッチング担当者が作成した名簿の順に数日空けながら順次配信してきました。再開後は念願の部会報を配布することができました。



## ～外国に暮らす人の不安を忘れないで～

月曜午後部会 萱生 由美子

サロン再開後、7月6日の参加者は学習者6名、ボランティア14名、また、13日は3名と14名でした。学習者は以前の1/3～1/4、ボランティアは2/3弱の出席率です。数は少ないものの、若い学習者の熱心な姿勢に、再開出来て本当に良かったと思えました。

学習者の出席が少ない理由は、やはり、日本語での情報理解が難しい故の“不安”だと思われます。母国からの情報はあっても、日本国内の現状を正確に把握することは外国人にはかなり大変な事でしょう。外国に住むという事は、良く分からない部分をいつも抱えて暮らしているのだ、という視点を我々ボランティアは忘れてはいけません。

サロンは安全で大丈夫だと伝えられれば、学習者はいずれ戻ってくるでしょう。9月2日のスタートを心から願うばかりです。



## ～微笑ましい雰囲気での再開初日～

水曜午後部会 島田 ふみえ

水曜午後部会の学習再開は7/1の初日にスタートとなり、通常とは異なる対応で混乱も予想されました。対応の人手不足を心配されて会長、会計担当にも手伝って頂き、検温、事務所・学習室の入退室、机の除菌対応は混乱もなくできました。

授業の初めには学習者とボランティアは机の両端に座って貰っていましたが、何時の間にか両者の距離が縮まっておりビックリしましたが、学習者は久しぶりに日本語を話す機会ができた喜びを、ボランティアも教える楽しみが感じられ微笑ましい雰囲気での再開初日でした。(参加者数: 7/1 学習者9名・ボランティア13名)

参加者全員の協力でスムーズに学習再開ができて水曜午後部会の良いところを再確認できました。皆さんのご協力ありがとうございました。



## ～手探り状況の中での再開でしたが…～

金曜午後部会 小林 義弘

金曜午後部会は、7月の学習会再開に当たり新体制を作る必要がありました。部長さんは体調の問題で当面お休み、副部長さんも家庭の事情により継続が無理とのことで新たに新副部長を選ぶ必要があり、私を含めた5人の昨年からの参加させてもらっている新人ボランティアに白羽の矢が立ちました。異例の人事と言えるかもしれません。6/26に再開前の事前打合せを行い再開に向けての対策と役割分担を決めました。そんな手探り状況での再開でしたが、初日の7/3は早めに集まり決められた役割により感染対策を実施し、無事に学習会を終えることができました。とにかく夏休みを挟んで9月からも新ボラ中心の体制で頑張らねばなりません。ベテランボランティアの皆さま、学習者の皆さま、応援よろしく願います！

最後に、学習会が再開出来たことに感謝。関係者の皆さまありがとうございました。





かいきん がくしゅうしゃ めい  
 ~皆勤の学習者が6名も!~

# 世界の文化

きんようよる ぶかい わかさ ゆたか  
 金曜夜部会 若狭 裕

## 「ゴーストタウンに響く狼の遠吠え」

きんようよる よだ よしこ  
 金曜夜ボランティア 依田 良子

かんせん ぼうし ちゅういじこう ぜんいん せつめい じつこう  
 感染防止のための注意事項を全員に説明し実行し  
 てもらった。マスク着用、検温、入室時に手のアル  
 コール消毒、着席机は着席前と学習終了後に消  
 毒。検温は安全を見て37.0度以上の人はお帰り頂  
 く方針で臨んだが全員OKであった。

まどがわかい てんまど ろうかがわとびら すべ かいほう がくしゅうつかんき  
 窓側回転窓、廊下側扉を全て開放し学習室換気  
 はかった。座る席を指定し間隔を確保。3人掛けの  
 机の両側に学習者とボランティアが着席し、ボラ  
 ンティアはフェイスシールドを着用した。学習時間  
 は1時間とした。出席者数は下記の通り。

- 7月3日(金) 学習者(9人)/ボランティア(15人)
- 10日(木) 学習者(9人)/ボランティア(13人)
- 17日(木) 学習者(6人)/ボランティア(14人)

3月以前の出席者数は学習者、ボランティアともに  
 平均20人前後であったが、やはり安全優先から上記  
 の数になったものと思われる。なお3日間皆勤の  
 学習者が6人おり、学習意欲の高さが覗える。9月  
 以降の運営については、8月に入ってからの東京は  
 じめ国内の感染状況を考慮し必要な感染防止対策  
 を講ずる必要があると思う。

わたし しんがた えいきょう う せきねん がつ  
 私が新型コロナの影響を受けたのは、昨年10月か  
 ら日本語ボランティアとして訪れていたパキスタ  
 ンの首都イスラマバードの National University of  
 Modern Languages 内に滞在する時でした。

3月15日テレビでの首相の出したロックダウン  
 の声明と同時にすべてが閉鎖され私は大学構内か  
 ら一歩も出ることは許されなくなりました。最小限  
 の食品、薬局などは営業していたようですが誰も  
 が自由には行けなくましてや我々外国人が町に出る  
 事は許されませんでした。最低限の必需品は各々メ  
 モに書き出して買い物係をお願いするのみでした。

首都とはいえ郊外には山々、峡谷があり野生の  
 動物も多く生息しています。ある日の夜中、ゴース  
 トタウンと化した町の様子に何か異常な出来事が起  
 きていと察知しました。無数の狼の遠吠えが聞  
 こえたのです。恐怖すら感じました。狼の遠吠え  
 には意味があり群れから離れた仲間を呼び戻すもの  
 と言われています。きっと、町に出てしまった仲間  
 に、危険だからもとに早く戻るように吠えていたの  
 でしょうか。

日を追うにつれ医療の崩壊の恐れもあると感じた  
 わたしは、4月下旬にカタール航空の特別機が運航され  
 るとの情報を得、ビジネスクラスのチケットではあ  
 りましたがなんとか手に入れました。そして5月  
 9日、成田に着いたのです。

成田空港に到着後は2時間かかって、ようやく  
 検査の番が回ってきましたが検温と問診のみ、PCR  
 検査を希望してみましたが叶いませんでした。そし  
 て14日間隔離のためのホテルの予約をうながされ、  
 自己負担での宿泊を余儀なくされました。

心身も財布も疲れ切つての帰国、自宅にたどり着  
 いたのは5月25日でした。(取材・文構成 里村)





にほん こそだ せいかつ  
「日本での子育て生活」

ちやう ぎよくふん たいわん  
張 玉芬 (台湾)

わたし たいわん まい  
私は台湾から参りました。2才の子供がいます。  
3年前に日本に来ました。  
すぐに日本語学校に入りました。でも日本語学習  
の途中で妊娠のため勉強を中断しました。  
言葉があまり出来ない国で子供の世話をするのは、  
外国人にとってとてもストレスが多いです。  
日本では家族のサポートがありません。友達の子  
育て経験の共有もありません。  
子育ての初期、私の情報は全部インターネットか  
らでした。例えば母乳で育てる方法、離乳食の作り  
方などです。まだ日本語があまり話せないから、そ  
れで大体8ヶ月間、毎日子供と家にいたので、ちょ  
っと産後うつ病になりました。子供がだんだん大き  
くなって、私は娘を連れて市の施設「たち」に行  
きました。

またフェイスブックで母親の友人にも会い子供達  
を公園にピクニックに連れて行ったり、保育体験を  
交換したりしました、正常の生活に戻ったのもこの  
時期です。

母親が母親の友人を持っていることは本当に重  
要です。誰もがお互いの子育ての経験を交換し、励ま  
し合います。私は一人では感じません。

新しい人生を迎えることは幸せなことです。母親  
だけに子育てのプレッシャーを直面させないで下  
さい。

初心者母親が問題を抱えている場合は、すぐに  
助けを求めなければなりません。

うつ病が母親の育児生活を損なうことのないよ  
うにしてください。

「幸せな子供を持つために 幸せな母親がいる」  
私の発表はこれで終わります。

「ぜひ、いらっしやい！クアンガイへ」

グエン ティ ホン タム (ベトナム)

わたしのふるさと  
私の故郷はベトナムのクアンガイ (Quang Ngai) 県  
です。クアンガイは熱帯モンスーン気候の南中部  
海岸地方に位置します。25~26.9℃の平均気温、  
天気は2つの異なる季節に分けられます：雨季と  
乾季の季節です。雨季は8月から1月中旬旬まで嵐  
のリスクが高く、乾季は1月下旬から7月中旬旬まで  
続きます。

農業国なので、クアンガイでは黄金に輝く稲穂、  
数千ヘクタールに及ぶ広大なサトウキビ畑を見る  
ことができます。クアンガイ県は麦芽、ドウオン フ  
オイ (ĐUÔNG PHỐI)、ケオ グウオング (KEO GIUONG)  
のような砂糖と米で作られた料理で有名です。クア  
ンガイに来たとき皆さんに試してほしい他の料理に  
はサトウキビ鳥、チャ ボーン (TRA BONG・川魚の  
佃煮)、貝の一種のドン (DON) があります。これは  
友人や親戚への贈り物としても有名です。

クアンガイでは多くの美しい観光地があります。  
それらの1つはライソン (LY SON) 島です。クアン



ライソン島を訪れたタムさん

ガイ市から約40km、  
ニンニクが多く育  
てられている島  
で、「ニンニク  
王国」という愛称  
で呼ばれます。し  
かし、最も人気の  
ある観光名所は、

澄んだ青い海の色、美しく素晴らしい景色です。  
春先にライソン島で開催されるボートレースフェス  
ティバルは、300年以上にわたって存在し、受け継が  
れています。これは伝統的な民俗文化であり、ライ  
ソン島の住民の大切なアイデンティティです。

クアンガイ県にぜひ一度お訪ねください。



かわさかな つくだに うえ さとう つく かし したひだり  
川魚の佃煮(上) コメと砂糖で作ったお菓子(下左)  
と食材(下右)

## わたし 私の☆つぶやき

こんげつは、コロナ禍の日々をどのように過ごしているか、また、これまでの日常と変わってしまったことなどについて、サロンの皆さまからいただいた「つぶやき」を特集します。(順不同)

### 「コロナと共に生きていきます」

りゅう かん ちゅうごく  
劉 歆 (中国)

日本では2月から、新型コロナウイルスの感染者数が多くなりました。心配なので、私は仕事をしばらく休み、子供も保育園を休んで家で自粛しました。

そのあと、政府は緊急事態宣言を発表しました。会社は在宅勤務に切り替え、学校もオンライン授業となりました。マスク、消毒液、トイレペーパー、米などの生活用品の需要が高まり買い占めもありました。

世の中は恐怖に陥りました。6ヶ月経った現在、生活も少しずつ慣れました。前より、怖くないし、落ち着いてきました。コロナとの戦いは1日のことではありません。ちゃんと消毒して、三密を避けて、コロナと共に生きていきます。



### 「対面授業の一番の楽しみは…」

おう うんえい ちゅうごく  
王 云齋 (中国)

サロンでは大学と同様に新型コロナウイルスの影響で授業は中止になり、授業はオンラインでスタートした。ラッキーな私。先生のお陰で一週間一回zoomによる日本語授業を続けている。画面に先生の元気な顔を見たら、収穫満々の一週を終わり。

対面での授業の思い出で、一番の楽しみは、三時のお菓子時間。サロンのみなさんはお菓子を食べたり、日本語を話したり。その様な午後時間になることを祈っているが、私たちは人々の命を守るために、今は我慢している。

### 「めちゃくちゃ たいへんです」

グエン バン ダット (ベトナム)

コロナで色々変わったことがあります。日本語学校の卒業式無し、大学の入学式も中止、帰国できないし、アルバイトもできません。めちゃくちゃたいへんです。家にごろごろしています。つまらなくなって。(2020/5/28)

※アルバイトは親からの指示で止めています。

### 「時間も増え、体重も…」

ツアイ シンイ たいわん  
蔡 欣怡 (台湾)

コロナが世界に広がってから、普通の生活は突然に変わってしまいました。

四月からバイトの収入が減って、不要不急の外出も控えなければならないので、家の中で過ごす時間が増えた一方で体重も増えてきました。

例年九月は私の夏休みですが、今年は残念ながら旅行を見送ることにします。

台湾の家族と友達たちは私の事を心配して、マスクや消毒液や好きな台湾のお菓子などを送ってくれました。胸がいっぱいになっています。

会いたい気持ちが溢れてくるけれど、今の状況では帰りたいけど帰れません。

早くコロナが終息して平和な日常生活が戻ってくるのを祈っています。

## 「バイエルと格闘しています！」

金曜夜ボランティア 東井 克巳

コロナ禍で週末や長期休みでも自宅にいることが増えています。そこでこの機会にピアノの練習を始めました。眠っていた古いキーボードを出し、楽器店で買った「バイエル」と格闘しています。片手ずつ弾いているときはよかったです、両手になると一気に難しくなります。

それでも、いつか人前で演奏できたら、と思っています。

## 「懐かしさに、遅々として進まず」

月曜午後ボランティア 平島 巖

サロンの活動は中止。一体どのようにしてすごそうか？我が家には沢山のネガフィルムがあります。いつまでもしまったままでは、子供が困るだろうと思いついて整理を始めました。若い時の写真、両親、結婚後の家族や子供たち、私の歴史の多くはネガフィルムの中にあります。ネガフィルムを見ると中学時代から有りました。「いやー、これは若いな」「懐かしいな」と思う青春時代の写真が沢山出てきます。友達の写真を見て「これは誰だっけ」と、中々作業が進みません。憧れだった人の写真も？困ったのは撮影の時期が不明なこと。写真データは将来どの様に保存し子供達に伝えようか？PCの中でまだまだ写真の整理が続いています。



## 「ぐうたらな私でもストレスが…」

月曜午前ボランティア 江澤 順子

今日(5/25)、緊急事態宣言が解除されることになりましたが、まだまだ心配です。不要不急の外出を控えるのにストレスを感じた人は沢山いると思いますが、根がぐうたらな私はさほどのストレス無く過ごしています。ただストレスと言えば、リモートワークをしている家族が毎日家になるので、3度の食事の支度がストレスでしょうか。何せ、家事の苦手な主婦なものですから…。

## 「ぶどうがいっぱい」

金曜夜ボランティア 井原 博美

我が家では、藤棚に葡萄を同居させています。藤は手に負えなくなったので、撤去と決心。樹齢80年ほどの幹を何カ所も、地下茎を掘り出しては鋸で切りました。この作業は暑くて大変で、私は病気になるてしまいました。

葡萄の手入れはできず、花の数だけ実がなって、小さな実の房がいっぱいです。来年は大きな実にしたいです。

## 「鮮明に思い出す 25歳の8月15日」

金曜夜ボランティア 赤木 喜代恵

規則正しい日々。7時起床、8時朝ご飯、9時府中体操実施。昼食後200歩、歩行。6時夕食、9時入浴の後、体調を振り返って軽い体操をする。コロナ自粛も長くなった。新聞、テレビを見て学習してきた。

今日は敗戦の日。過去は、古い映画の様だが、この日だけは鮮明に思い出す。25歳だった。

(編集部:赤木さんは、今年9月15日に100歳を迎えられます。)

## 「在宅学習してます」

げつようごぜん 月曜午前ボランティア  
ほらだ みつひこ 原田 満彦

Stay home なので家で勉強しています。勉強とい  
っても、国立国語研究所が無償でインターネットで  
公開している教材を視聴しているだけです。留学生  
を対象にしている全30回の日本語学に関する講義  
動画です。各回の講義が30分から50分ほどで、これ  
を視聴するのが毎日の私のルーティンです。机上の  
学習ではなく、早くサロンで学習者と共に実践的な  
日本語教育をしたいものです。

## 「ふるさとの空気を満喫したい」

きんようごご 金曜午後ボランティア  
あじま ふみえ 安島 文江

私のふるさとは佐賀。もうじき90歳になる母親が  
いて、月1回私のリフレッシュも兼ねて帰省してい  
る。3ヶ月前に帰省した際、佐賀もコロナ感染者が  
増加中で、“東京から来た”だけで後ろめたく“ビク  
ビク”して過ごしていた。

ああ『につくきコロナ』早く終息してくれ！これ  
まで通り、ふるさとの空気を満喫させて～！！

## 「ゲームにハマってます」

げつようごご 月曜午後ボランティア  
こすぎ えいこ 小杉 英子

1月、知人からメールで中国武漢での新型コロナ  
ウイルス発生を知らされた。あっという間に全世界  
に感染拡大。不要不急の外出を控え自粛生活を余儀  
なくされた。発生直後、任天堂スイッチ「リング  
フィット」「脳を鍛える大人のトレーニング」を買い、  
以来、午前中はTVに向かい汗を振り撒き、昼はコロ  
ナ禍の最中覚えたレシピ通りに「フォカッチャ」を  
焼き、美味しく食べている。



## 「コロナ後の予感」

きんようよる 金曜夜ボランティア  
せんば たかし 仙波 昂

コロナ禍にもかかわらず「五感自粛せず」と認め、  
活発な近況をFacebookで知らせてくる友人がいる。  
翻ってわが身はどうか。電車にもバスにも乗らず、  
飲み会の誘いがあっても断り、長雨で伸びた草む  
しりもしない無聊を託すごもりをしている。

ただコロナ後の予感は感じている。少しの係わり  
が残っているビジネスの世界、何回かオンラインの  
テレビ会議に参加した。これまで往復3時間を掛け  
て1時間の会議に出席していた。その不合理さに気  
づかされた。これからはビジネスが変わるに違いな  
い。

## 「怪しいやつ!？」

げつようごぜん 月曜午前ボランティア  
のがわ とよこ 野川 豊子

電車にもバスにも乗らない毎日です。そして、な  
るべく自転車にも乗りません。運動不足の毎日、ス  
ーパーへはリュックを背負い歩いて買い物に行くよ  
うにしています。往きはなるべく大手を振って胸を  
張って…。しかし帰路は重くなってそうはいきませ  
ん。もっとおかしいのは、日差しがあるので帽子を  
かぶり眼鏡をしてその上マスクなので、「怪しいや  
つ」そのもので友人に会ってもわかりません。

## 「死角を縫うように…」

げつようごぜん 月曜午前ボランティア  
みずもと みなこ 水元 三奈子

テレワーク中の夫とオンライン授業の息子たち  
の在宅。Wi-Fiの都合上、我が家のリビング周りは  
「密」。平日は常にPCが3～4台起動している状態。  
彼らのwebカメラに映り込まないようにと死角を縫  
うように移動する私。さすがに2ヶ月経つとお互い  
にこの状況にも慣れて来ました…。

## 「『サロンの集い』中止のお知らせ」

毎年年末に開催していた恒例の「サロンの集い」は、今年中止することになりました。企画部会は開催の方向で調整をしていましたが、新型コロナウイルスの感染状況の好転が見込めず、サロンの皆さまの安全を優先しやむなく中止の決断を下しました。実行委員会もそれをうけ、中止と決定しました。来年は是非開催できることを願っています。(編集部)

この度、会報部会員として名前を連ねる事になりました。きっかけは、2018年度日本語学習発表会の冊子作成に担当部会として参加した事です。その後、微力ながら毎月の会報誌作成のお手伝いをしているうちに「やらなければならない事」が「やりたい事」に変化してきました。

諸先輩方のご指導をいただきながら部会の一員として貢献できるように努めてまいりたいと思います。皆さま、原稿依頼時にはご協力のほど、どうぞよろしくお願いたします。(里村 恵)



## 「プラッツのサロンの名称が変わります」

我々「府国際交流サロン」と同じ名前で、3年前から始まったプラッツにある「府国際交流サロン」は、名前が同じなので、まぎらわしく思われる方も多くいました。これまでは市の協働推進課が運営していましたが、この4月からNPO法人エンツリーへの委託となりました。それを機に、名前も変わり国際交流サロン「DIVE」(ダイブ)として活動されます。

令和4年度からは、「国際交流サロン」という文字もなくなる予定です。「DIVE」とは diversity (多様性、相違)と dive (飛び込む)などの意味を兼ね備えた名前とのことです。(編集部)

## 訂正とおわび

先月号の実行委員一覧の中で、企画部会の岡さんと高部さんが新任となっていました。新任ではなく現任の誤りでした。訂正しておわび申し上げます。(編集部)

【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘  
会報部会：堤 林・和田・岩城・末田・里村

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

